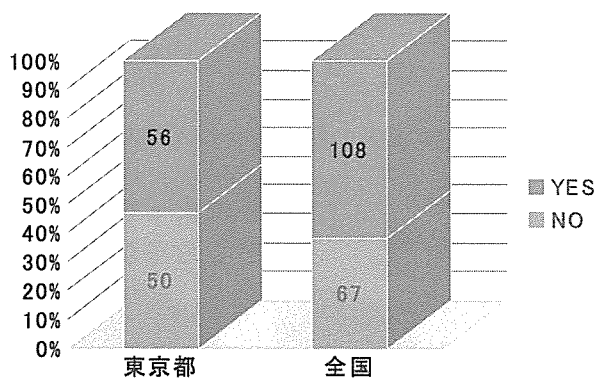


て明らかに不足していることがあり、治療機関としての病院の役割を果たしていく事も含め、改めて福祉の充実が求められていると考えられた。

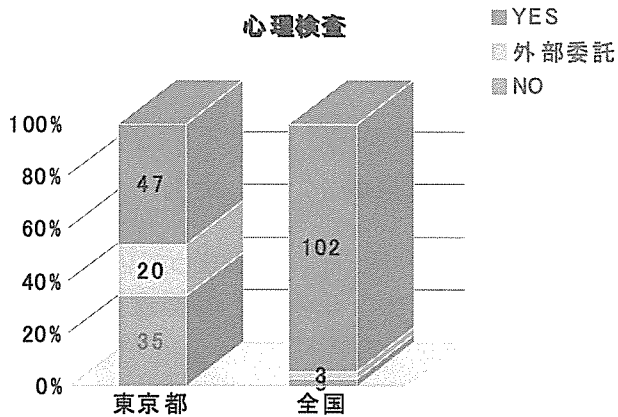
(結果)

- * 今回の結果を「全国」として示す
- * 「東京都」のグラフは前年度の東京都内の小児科を中心としたアンケートの結果のため、単純な比較はできない

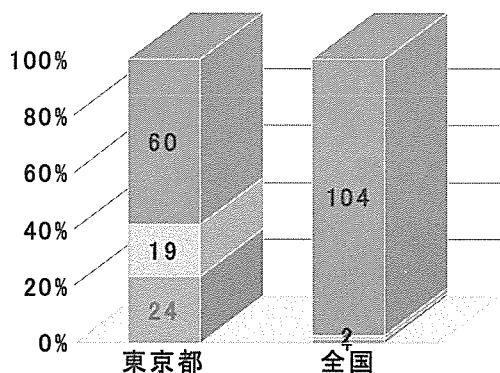
<発達障害者の診療の有無>



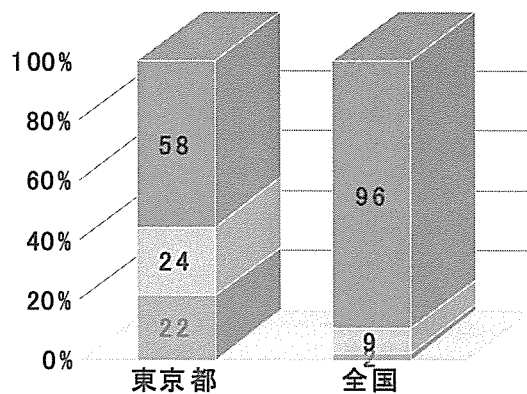
<病院で行える補助診断ツール>



脳波検査

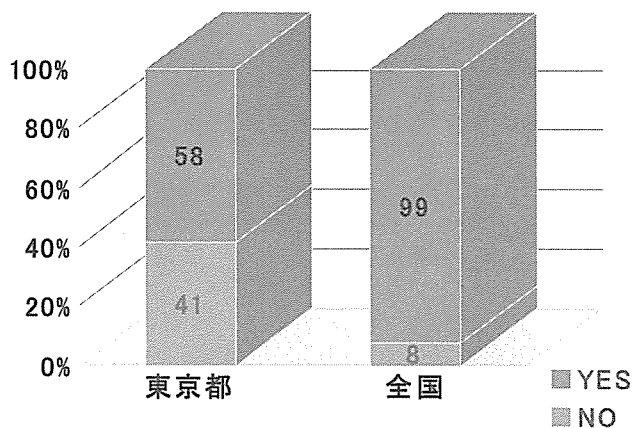


MRI or CT

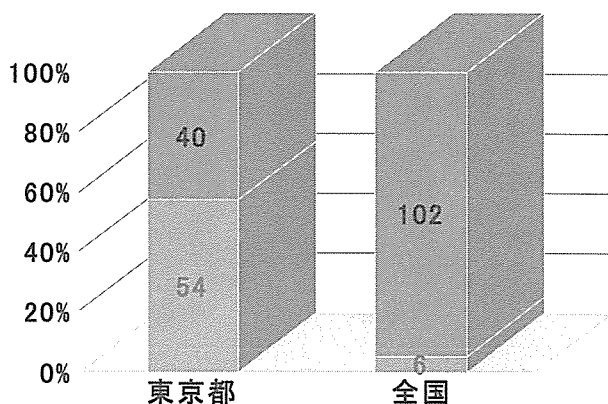


<病院で行えるプログラム>

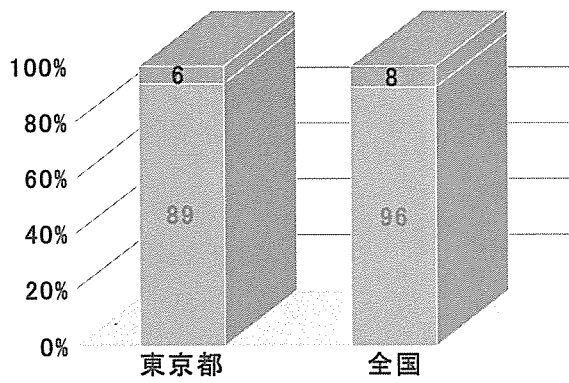
カウンセリング



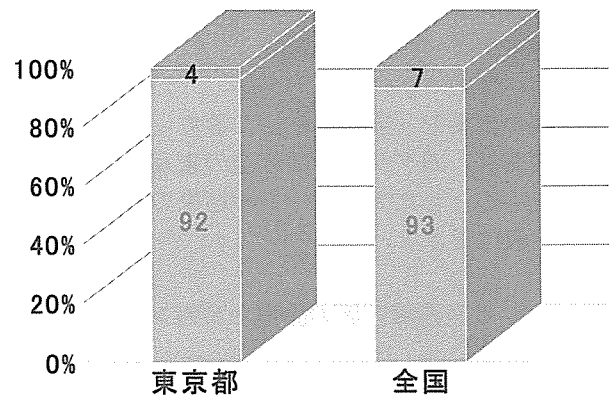
薬物療法



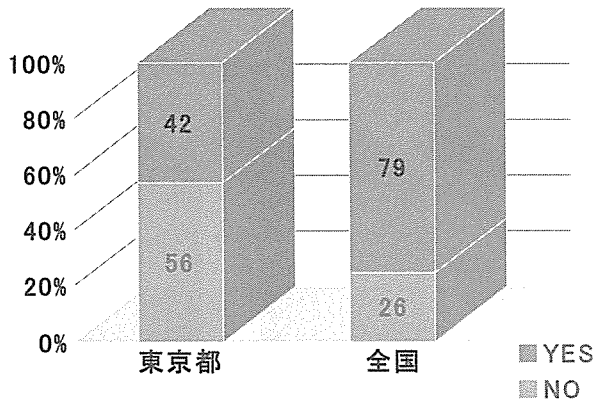
TEACCHorABA



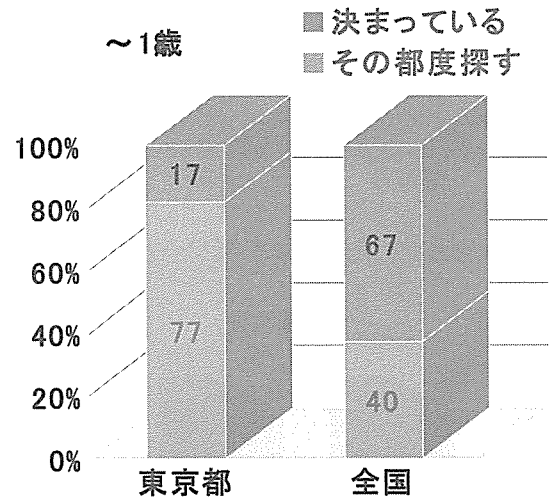
訪問看護or往診



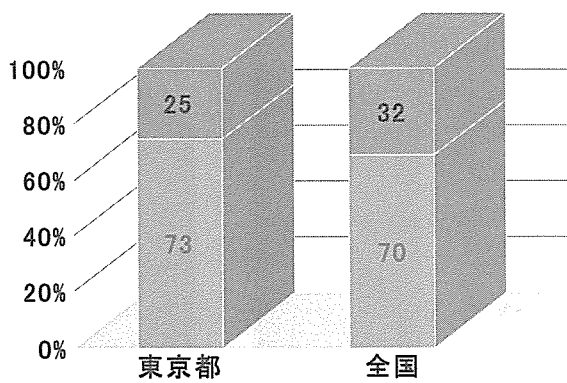
児相、学校との連携(来院)



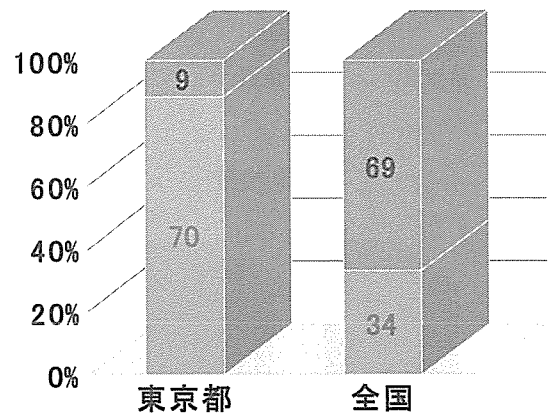
<発達障害者の精神科への入院の紹介先>



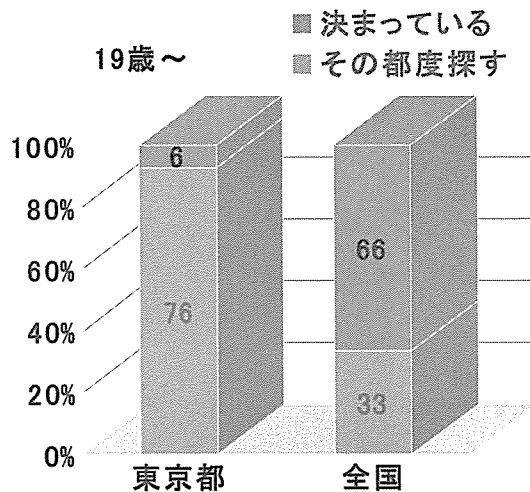
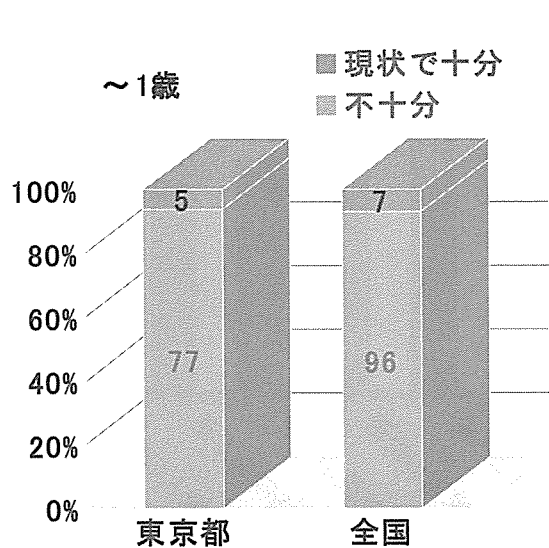
児相、学校との連携(治療者訪問)



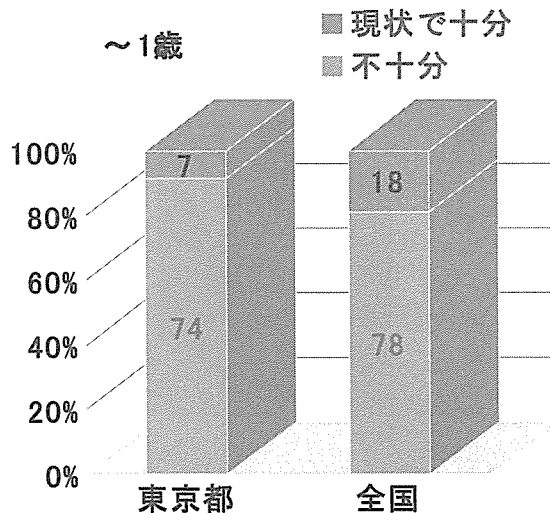
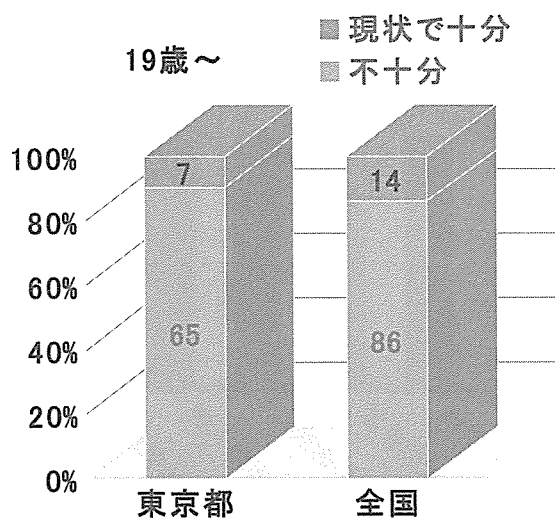
19歳~



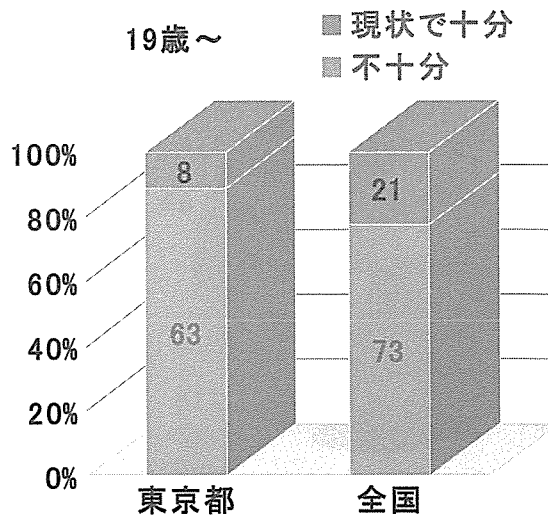
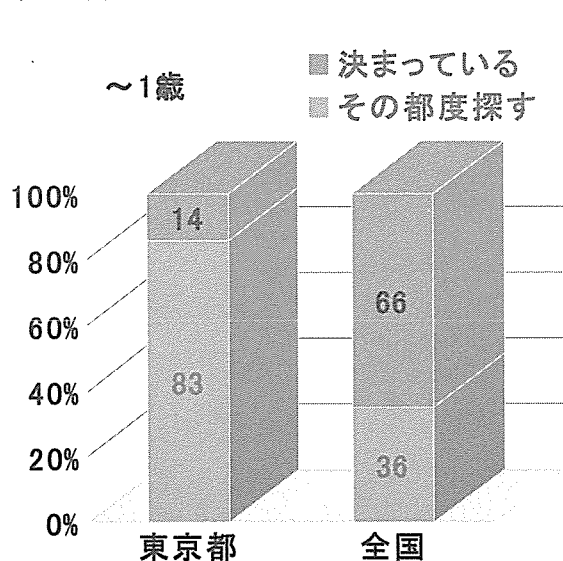
<今後の発達障害者の精神科への入院治療>



<今後の発達障害者の合併症での入院治療>

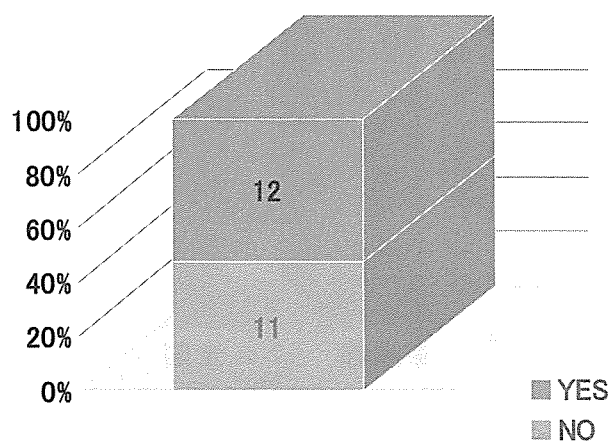


<発達障害者の合併症での入院の紹介先>

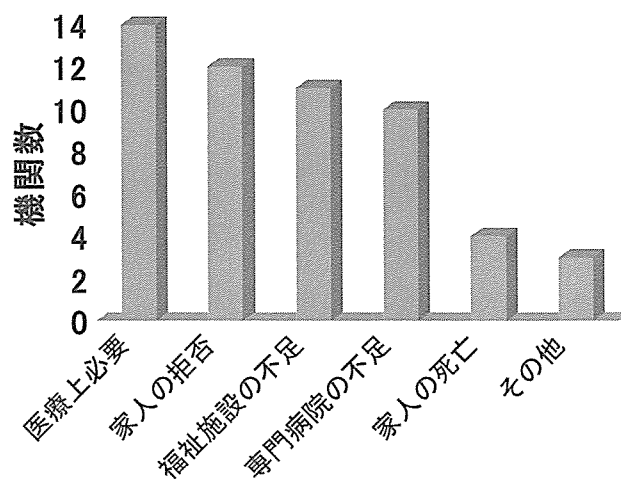


<長期在院発達障害者>

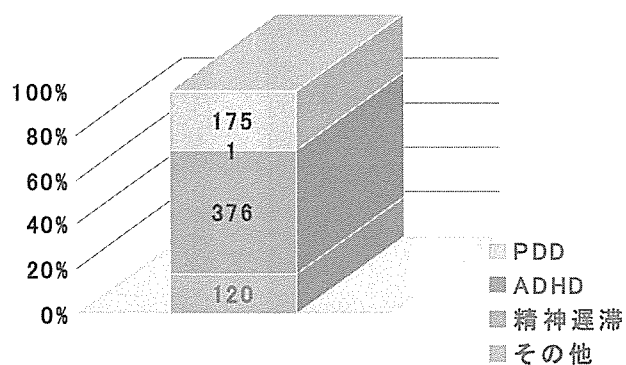
発達障害者病棟の有無



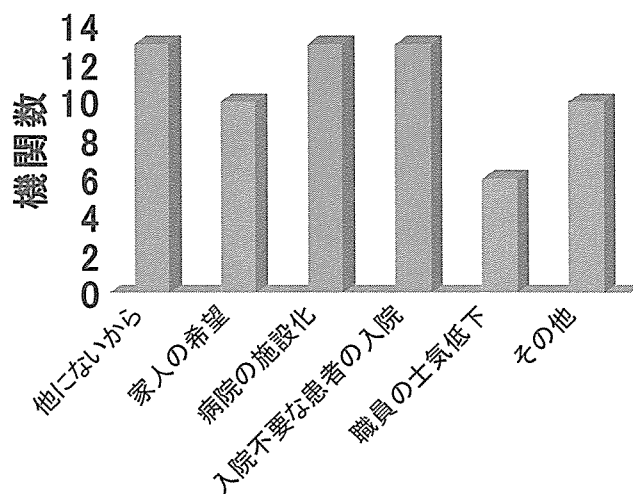
在院の理由(複数回答可)



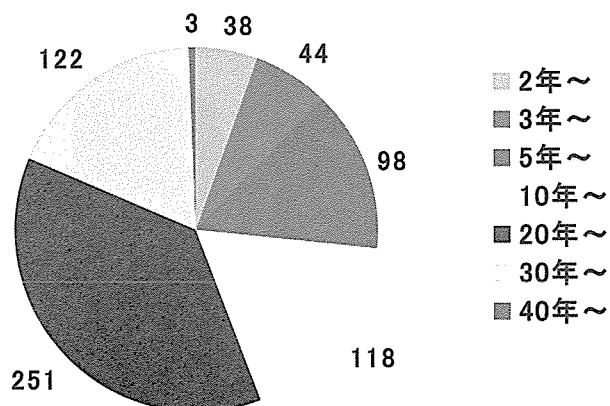
主診断名



長期在院患者の処遇について(複数回答可)



在院期間



Ⅲ. 研究成果の刊行に関する 一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文名	編集者	書籍名	出版社	出版地	出版年	ページ
<u>田中康雄</u>			軽度発達障害のある子のライフサイクルに合わせた理解と対応	学研	東京	2006	
<u>田中康雄</u>	監訳	ネーブ ン, ル ース・シ ュミット・ アンダ ーソン, ヴィッキ & ゴッ ドバ ー, ティ ム(著)	ADHD医学 モデルへの 挑戦—しな やかな子ど もの成長の ために	明石書 店	東京	2006	
<u>安達潤</u>			自閉症ガイ ドブックシ リーズ 4 成人期	日本自 閉症協 会	東京	2006	111-114
<u>安達潤</u> 、 <u>市川宏 伸</u> 、 <u>井上 雅彦</u> 、 <u>内 山登紀 夫</u> 、 <u>神尾 陽子</u> 、 <u>栗 田広</u> 、 <u>杉 山登志 郎</u> 、 <u>辻井 正次</u> 、 <u>行 廣隆次</u>			広汎性発達 障害日本自 閉症協会評 定尺度 (P A R S)	日本自 閉症協 会	東京	2006	
<u>内山登紀 夫</u>			本当の T E A C C H	学研	東京	2006	
<u>高山 恵</u>			ふしぎだ	ミネル	京都	2006	

子、 <u>内山登紀夫</u>			ね !? ADHD(注 意欠陥多動 性障害)の おともだち	ヴァ書 房			
神奈川 LD協会、 <u>内山登紀 夫</u>			ふしぎだ ね !?LD(学 習障害)の おともだち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
諏訪利 明、安倍 陽子、 <u>内 山登紀夫</u>			発達と障害 を考える本 〈1〉ふしぎ だね!?自閉 症のおとも だち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
安部陽 子、諏訪 利明、 <u>内 山登紀夫</u>			発達と障害 を考える本 〈2〉ふしぎ だね!?アス ペルガー症 候群(高機 能自閉症) のおともだ ち	ミネル ヴァ書 房	京都	2006	
<u>緒方明子</u>	地域にある民間 の機関における 援助－YMCAの 活動紹介と民間 の場の利用－	金谷京 子,他	学習につま ずきのある 子の地域サ ポート	川島書 店	東京	2003	
<u>緒方明子</u>	通常の学級にお ける発達障害へ の教育支援(1)	太田俊 己・宮 英憲・ 中坪晃 一	発達障害の 教育支援法	放送大 学教育 振興会	東京	2007	141-148
<u>緒方明子</u>	通常の学級にお ける発達障害へ の教育支援(2)	太田俊 己・宮 英憲・ 中坪晃 一	発達障害の 教育支援法	放送大 学教育 振興会	東京	2007	149-156

緒方明子	固有のニーズへの教育支援（1） 自閉性障害を伴う場合	太田俊己・宮英憲・中坪晃一	発達障害の教育支援法	放送大学教育振興会	東京	2007	157-164
辻井正次	特別支援教育で始まる楽しい学校生活の創り方		軽度発達障害の子どもたちのために	河出書房新社	東京		印刷中
市川宏伸	行為障害		今知りたい異常心理	宝島社	東京	2006	156-169
市川宏伸	言語障害と注意欠陥多動性障害	太田昌孝	発達障害	日本評論社	東京	2006	65-78

雑誌

発表者	論文名	発表誌	巻（号）	ページ	出版年
田中康雄	発達障害児への心理的援助 軽くとも生きがたい子ら	臨床心理学	6巻2号	257-263	2006
田中康雄	発達障害を抱えながら超える10歳の節目	臨床心理学	6巻4号	481-486	2006
田中康雄	軽度発達障害の理科	月間保団連	902号	4-11	2006
田中康雄	家族・家族会・自助グループ	日本臨床	65巻3号	532-537	2007
田中康雄	発達障害と児童虐待	最新精神医学	12巻2号	111-117	2007
田中康雄	軽度発達障害に対する教育と医療の連携	精神科臨床サービス	7巻1号	92-96	2007
田中康雄	発達障害と児童虐待	子どもの虹情報研修センター紀要	4巻	34-47	2006
田中康雄	ADHD の理解と指導	コミュニケーション障害学	23巻3号	207-214	2006
田中康雄	虐待された子どもが示す非行・犯罪	子どもの虐待とネグレクト	8巻3号	308-316	2006
田中康雄	いわゆる反社会的	精神科治療学	21巻3号	265-272	2006

	行動を示す子どもへの対応				
<u>田中康雄</u>	発達障害の症状評価	精神科	8巻1号	66-72	2006
<u>田中康雄</u>	発達障害と非行臨床	小児保健研究	65巻2号	174-179	2006
<u>安達潤</u>	自閉症スペクトラム障害の社会的スキル支援を考える	特別支援教育研究	585号	7-12	2006
<u>神尾陽子</u> 、 <u>行広隆次</u> 、 <u>安達潤</u> 、 <u>市川宏伸</u> 、 <u>井上雅彦</u> 、 <u>内山登紀夫</u> 、 <u>栗田広</u> 、 <u>杉山登志郎</u> 、 <u>辻井正次</u>	思春期から成人期における広汎性発達障害の行動チェックリスト：日本自閉症協会版広汎性発達障害評定尺度（PARS）の信頼性・妥当性についての検討	精神医学	48巻	495-505	2006
<u>辻井正次</u> 、 <u>行廣隆次</u> 、 <u>安達潤</u> 、 <u>市川宏伸</u> 、 <u>井上雅彦</u> 、 <u>内山登紀夫</u> 、 <u>神尾陽子</u> 、 <u>栗田広</u> 、 <u>杉山登志郎</u>	日本自閉症協会広汎性発達障害評価尺度（PARS）幼児期尺度の信頼性・妥当性の検討	臨床精神医学	35巻	1119-1126	2006
<u>安達潤</u> 、 <u>行廣隆次</u> 、 <u>井上雅彦</u> 、 <u>内山登紀夫</u> 、 <u>神尾陽子</u> 、 <u>栗田広</u> 、 <u>杉山登志郎</u> 、 <u>辻井正次</u> 、 <u>市川宏伸</u>	日本自閉症協会広汎性発達障害評価尺度（PARS）・児童期尺度の信頼性と妥当性の検討	臨床精神医学	35巻	1591-1599	2006
<u>若林明雄</u> ・ <u>内山登紀夫</u> ・ <u>東條吉邦</u> ・ <u>吉田友子</u> ・ <u>黒田美保</u> ・ <u>サイモン</u>	自閉症スペクトラム指数（AQ）児童用・日本語版の標準化－高機能自閉症・アスペルガー	心理学研究		534-540	2006

バロン・コーエン・サリー ウィール ライト	障害児と定型発達 児による検討				
田中恭子、 <u>内 山登紀夫</u>	アスペルガー症候 群，一病因と臨床 研究— IV. 診断の 進歩アスペルガー 症候群：診断基準	日本臨床		470-474	2007
<u>内山登紀夫</u>	青年期軽度発達障 害児者への支援を 考える 青年期の 発達障害の診断	児精誌	47 卷	252-256	2006
<u>内山登紀夫</u>	自閉症研究の新展 開 自閉症・ TEACCH プログ ラム	医学のあゆみ	217 卷	979-983	2006
吉田友子， <u>内山登紀夫</u> ， 日原信彦， 飯塚直美	高機能広汎性発達 障害の子どもたち における ADHD 症状の検討	脳と発達	38 卷	S126	2006
<u>内山登紀夫</u>	気になる子どもに 対する支援のあり 方	月刊福祉	89 卷 5 号	28-31	2006
<u>高橋 脩</u>	自閉症とADHDの愛 着の発達について	そだちの科学	7卷	66-70	2006
<u>高橋 脩</u>	軽度発達障害の早 期診断と対応—高 機能自閉症と注意 欠陥多動性障害を 中心に	現代のエスプリ	476 号	40-45	2006
<u>高橋 脩</u>	発達障害の児童精 神科臨床	児青誌	47 卷	316-317	2006
Harumi Ogiwara & <u>Osamu Takahashi</u>	The Development and Characteristics of Autistic Children Receiving Very	Japanese Journal of Child and Adolescent Psychiatry	46 (Supplement)	40-60	2006

	Early Intervention				
<u>辻井正次</u>	アスペルガー症候群の理解と地域支援のあり方	月刊保団連	902号	42-48	2006
<u>辻井正次</u>	子どものこころの専門家はどこで育つのか	教育と医学	54巻3号	56-65	2006
豊田佳子、 <u>辻井正次</u>	高機能広汎性発達障害をもつ子どもたちへのグループ・アプローチ	臨床精神医学	36巻5号	印刷中	
<u>辻井正次</u>	子どもの心の支援としてのグループ療法	母子保健情報	55号	印刷中	
Sugihara G, Hashimoto K, Iwata Y, Nakamura K, <u>Tsujii M</u> , et. al.	Decreased serum levels of hepatocyte growth factor in male adults with high-functioning autism.	Prog Neuropsychopharm. Biol Psychiatry	31	412-415	2007
Nishimura K, Nakamura K, Anitha A, Yamada K, Tsujii M, et. al	Genetic analyses of the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene in autism	Biochem Biophys Res Commun	356	200-206	2007
<u>市川宏伸</u>	成人のAD/HD(注意欠陥・多動性障害)	都薬雑誌	28巻	4-9	2006
<u>市川宏伸</u>	障害者自立支援法について -子ども精神科から-	じんけん Board (ぼーど)	7号	3-4	2006
<u>市川宏伸</u>	障害をどう捉えるか	児童心理別冊	849号	92-87	2006
<u>市川宏伸</u>	プライマリ・ケアでの発達障害の診	プライマリ・ケア	29巻	327-329	2006

	方				
市川宏伸	児童青年精神科と 薬物治療	児青誌	47 巻	432-439	2006
市川宏伸	子どもの心の診療 医の養成の現状	精神科臨床サービ ス	7 巻	24-28	2006
市川宏伸	児童精神科医との 連携	精神科臨床サービ ス	7 巻	65-68	2007
成重竜一郎、 市川宏伸	小児精神医療にお ける子どもの攻撃 性	心と社会	38 巻	32-36	2007
市川宏伸	発達障害について の理解と支援	職リハネットワーク	60 号	30-34	2007

厚生労働科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業

平成19年3月31日

発達障害(広汎性発達障害、ADHD、LD等)に係わる
実態把握と効果的な発達支援手法の開発に関する研究

研究代表者 市川 宏伸

連絡先 〒156-0043 東京都世田谷区松原6-37-10
東京都立梅ヶ丘病院医局
TEL：03-3323-1621 FAX：03-3328-0312

印刷 社会福祉法人新樹会 創造印刷
